湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日時

令和6年11月28日（水）15:00～16:45

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

I. 開会

II. 出席者紹介

III. 挨拶（いわき市 総合政策部 創生推進課長）

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

資料1-1、1-2

1. 常磐地区の現状と課題 ～ 計画づくりの経緯 ～

2. 湯本駅前の再生に向けて ～ 一体的な空間の中で民間・公共の機能を配置 ～

3. 湯本駅前のイメージ ～ 交流拠点・共同利用エリアの整備方針の検討 ～

4. 事業の進め方

5. 質疑応答

V. その他

1. 湯本駅周辺土地区画整理事業に関する窓口の設置について

資料2

2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介

資料3-1、3-2

3. 新・いわき湯本温泉コンテンツ創造ワークショップについて

資料4

4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について

5. 質疑応答

VI. 閉会

■ 質疑応答の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

IV. 湯本駅周辺のまちづくりについて

- 区画整理における減歩率と保留地について教えてください。
- ⇒ 減歩率は駅前ということで価値が高く 0.1%となっています。保留地は設けない方向で検討しています。

- みゆきの湯をよく利用しているのですが、いつまで利用できるのでしょうか。
- ⇒ 今年度3月までを予定しております。
- 3月以降この場所には、同様の施設はできるのでしょうか。
- ⇒ みゆきの湯の代替施設は考えておりません。さはこの湯の利用をお願いいたします。

- 市民会館の跡地はどうなりますか。これまで、市民会館を吹奏楽の練習場所として利用していました。学校では広さに制限があり、大会を想定した練習を行うことができません。新たに整備する多目的ホールでは現在のような目的利用ができないのではないのでしょうか。
- ⇒ 現時点で何になるか決まっているものではありません。引き続き市が何かを整備するのではなく、民間活力の活用を想定し検討を進めております。
- ⇒ 人口減少やそれに伴った税収減が想定されるなか、1,000人規模の大きな施設の維持をしていくのが困難となります。現時点では広さ600~700㎡、収容人数300名規模の多目的ホールを想定しており、そちらを利用していただければと思います。また、施設の在り方については「いわき市公共施設等総合管理計画」に基づき検討を進めたものであり、小名浜や勿来も同様に個別に検討を進めることとしています。
- 常磐地区をはじめ各地区において学生など利用する将来のため、アリオス以外の地区はすべて廃止とするような判断はしないでいただきたいです。

- 土日や夜間の安全確保のためスーパー等、市民利用を想定した店舗の導入をお願いしたいです。
- ⇒ ご意見ありがとうございます。今後の導入機能の参考とさせていただきます。

- 区画整理対象区画に既存の店舗は、その後も再配置されるのでしょうか。
- ⇒ 地権者の意向が優先となりますが、常磐地区を盛り上げたいという気持ちで、引き続き残りたいという意向があるようです。

- 関船体育館は災害時の避難場所として近隣住民の方々から利用されておりますが、今後はどうするのでしょうか。
- ⇒ 関船体育館は今回再編する機能の1つとしており、今後は更地になる予定です。交流拠点施設の供用開始となる令和13年以降にどうするのか、危機管理部門と密に連携を取り、皆様に示していく必要があると考えております。

- 災害はいつおこるかわかりません。今の市民会館であっても、ガラスが割れ周りの住宅地へ飛散するなど存在すること自体に対する不安もあります。市民の安全を優先し考えていただければと思います。

- 交流拠点施設をはじめ、区画整理事業対象地域の水害への想定はしているのでしょうか。
⇒ 今後基礎調査を実施するにあたっては、道路設計において排水機能等を慎重に検討をする必要があると考えております。また、杓子定規での調査とせず、現地を知る住民に対してヒアリングを実施するなど、適切に対応していきます。

- 土地や施設のかさ上げをしてはどうでしょうか。
⇒ 隣接する県道の高さを変えることができないため、難しいと思われれます。雨水管等で計算しながら検討していきます。

- 交流拠点施設のイメージ案について、案なら代替案や第2案があるのかと以前市職員に質問したことがありましたが、答えていただけませんでした。都市計画法 55 条 2 項 3 項により市と県の都市計画審議会で決定しているのは、区画整理と道路のだけのはずですが。資料に記載されている交流拠点施設のイメージ図は誰が書いたものでしょうか。
⇒ 市がコンサル会社に業務として委託で発注したものです。

- 建物が2階建てなのか、3階建てなのかは決まっていないということでしょうか。
⇒ 階層については、高層の建物が建つということは湯本の駅前に相応しくないということを地域の皆様から意見をいただいております。なるべく低層にしようという意向があります。これまで文面だけの提示であったため、どういう駅前になるかよくわからないという意見をいただいておりますので想像や議論がしやすいように提示しているものであって、まだ何も決まっています。区画整理の事業認可によって、概ねの土地の面積が固まったことから、よりわかりやすいものを示せるよう、これまで地域と対話を重ねてきた基本計画や作り上げたビジョンブックと相違ないものとしてとらえ、お示ししております。今回の市民説明会で頂いたような意見を全部は難しいですが、フラを感じられる湯本の玄関口としてふさわしいものを可能な限り実現させていきたいと思っています。

- 説明や資料の中で賑わいというワードが多く登場しています。いわき市においても人口減少が進むなかで、賑わいの創出は実現できるのでしょうか。湯本駅周辺の賑わい創出における定義について、具体的な数値目標はあるのでしょうか。
⇒ 市の人口減少に対する課題について、様々な取組みを行っております。本プロジェクトについては「いわき湯本温泉への観光入込客数 約 60 万人」など説明資料の P10 に記載の数値目標を掲げております。いわき湯本温泉は市の貴重な地域資源として考えています。これを契機として行政と地域、民間が一体となって、交流拠点施設から周辺地区への賑わいの波及、地区全体の魅力の向上に努めてまいります。

V. その他

《2. 常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介》

- 温泉とフラがサポートブックからあまり感じ取ることができません。他の温泉地域との差別化を図るためにも、反映させたほうがよいのではないのでしょうか。
- 1,300年の歴史のあるいわき湯本温泉に対し、100年の炭鉱、60年のハワイアンズオープンによるフラ文化と積み上げてきた歴史の長さがそれぞれ異なります。検討するにあたり一概に一括りにするべきではないと思います。
- ⇒ 頂いたご意見をもとに今後もブラッシュアップをしていきます。

- 先日、スパリゾートハワイアンズを所有する常磐興産(株)が外資系企業に買収されるという報道がありました。引き続き、フラを主張したまちづくりをするのは危険ではないのでしょうか。
- ⇒ 買収にあたっては、ハワイアンズのフラダンスのショーなどを評価していると聞いております。市としても、引き続き今後の動向を注視していきます。

《4. 「湯本駅前みゆきの湯公衆浴場」の廃止について》

- いわき湯本温泉の権利は誰が持っていますか。
- ⇒ 市や事業者は、権利を所有している常磐湯本温泉(株)が温泉を汲み上げそこから購入しております。株主構成は常磐興産(株)が50%、いわき市が30%、いわき市常磐湯本財産区が20%です。
- 常磐興産(株)の買収により、温泉の権利も今後はどうなるかわからないという理解でよいでしょうか。
- ⇒ 当面は事業を継続していくと聞いています。
- みゆきの湯の廃止について、決定していますか。市の判断にあたり市民への説明を行ってききましたか。
- ⇒ 市として議案の提出にあたり、みゆきの湯の存在する区の区長、関係団体に対し説明を行ってききました。議会審議はこれからなので、そこで廃止についての議論のうえ判断がなされる予定です。